

第1回	保谷第一小学校 学校運営協議会（要点記録）
日時	令和7年4月30日(水)15:00
場所	保谷第一小学校 図書室
出席者	高田進委員、古賀卓夫委員、中野洋子委員、有本唯委員、 福田妙子委員、牛村美香委員、児玉佑衣委員、原之雄委員
欠席者	吉村真理子委員、稲澤志穂委員
司会	本校副校長藤本知子
委員10名中、8名の出席、学校運営協議会規則第11条第2項の規定により、会議は成立	
次第1	校長挨拶
	本日はご多用の中、ありがとうございます。 4月7日、桜の花がまだ咲いているなか、いいスタートがきれました。登校時は、多くの保護者の方、地域の皆様が見守ってくださって、大変助かります。いろいろな場面で子どもたちを支えてくださってありがたい。学校だけでは不十分ですし、ご家庭でやっていただくこと、保護者、地域の皆様方からもご意見をいただきながらやっていきたい。
次第2	任命書授与 委員のご紹介（自己紹介）
	荒屋敷自治会会長、高田進委員
	コーディネーター/高橋家屋敷林保存会、古賀卓夫委員
	コーディネーター/施設開放運営協議会管理者、中野洋子委員
	田無警察署下保谷駐在所員、有本唯委員
	ふれあい広場、福田妙子委員
	しらうめ子ども育成会会長、牛村美香委員
	PTA代表委員長、児玉佑衣委員
	(教員の自己紹介)
会長・副会長選出	
規則第10条第1項で協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によって定めることとなっている。今年度も会長に吉村真理子様、副会長を高田進様をお願いすることとする。	
次第3	審議事項
	議事録については、公開の対象になるので今年度も要点記録とする。
令和7年度学校経営方針について	

校長	<p>学校経営計画を参照</p> <p>【教育理念及び教育目標】 知…「よく考え進んで学ぶ子ども」(問題解決力) 徳…「なかよく助け合う子ども」(人間関係形成力) 体…「元気で明るい子ども」(生きぬく実践力) これらの目標を達成するため、それぞれの立場、役割に基づいてチーム学校として取り組んでいきます。</p> <p>【学校の特色】 地域の力が大きい。価値観の多様化。多数の意見だけではなく、子どもにとって必要なこと、大切なことは何なのかを念頭に、教育活動に当たりたい。 リーダーシップだけではなく、フォロワーシップも大切。その時に応じて、リーダーシップ、フォロワーシップをこれまでの活動もより良く見直していくことも考えていきたい。</p> <p>【目指す学校像】 子どもを大切にす学校として、塾ではできない学習、プロの教員集団でありたい。家庭や地域の方々とともに、子どもを育てていきたい。</p> <p>【学校経営の目標】 学力向上を目指します。</p> <p>【具体的方策】 全部で5点ありますが、そのうち何点かを話します。 ・問題解決学習の充実のため、若手教員の研修を月に1回行い、指導力向上につなげます。 ・読む力・書く力・問題を解決する力の充実のため、朝学習に取り組みます。 ・開かれた教育活動の推進のため、ふるさと探究学習をさらに進めていきます。 ・今年度から教育委員会の研究指定を受けて2年間研究に取り組む。具体的な取り組みとしては、千葉大学が研究を進めている認知行動療法的なアプローチで不安を取り除く、ある程度有効と言われているプログラムを、本校で2年間で行います。対象は5・6年児童で、全10時間のプログラムになり、プログラム前後でどのような変容が見られるかを研究していきます。ふるさと探究学習と同時並行で進めていきます。「不安」のない人生など、あるわけがない。「不安はある」けれど、それが「不安ではなくなる」、そのような研究プログラムに参加します。 ・特別支援拠点校として指導の充実をめめます。指導する児童は年々増え、今年度は135名の児童を12名の教員で指導していきます。また、R8年度から東小の固定級が住吉小へ。本校の建て替えが最短で5年後となり、その際には本校に地域の中核となるべく新たな固定級が設立されるので、カリキュラムを組み立てていく必要があります。</p>
質問	<p>しらうめは、以前は児童が他校から来て4時間指導していたと思うが、効果があったのに、それが2時間の指導になったのはなぜですか。</p>
校長	<p>4時間指導するとすると、135名かける4時間。一人の教員が何時間も指導することが物理的に困難な状況です。また、週に1時間だけの、道徳や学級活動、などもあり、個別指導これまで少人数指導でやってきたことは時数的に難しくなってくる。</p>
質問	<p>いずれ、さらに人員不足になる？</p>
校長	<p>東京都の基準は児童12人に一人の教員と決められているので、物理的に困難になってくる。</p>
副校長	<p>自校で指導を受けられることに関しては、その良さもあります。</p>
質問	<p>不安を解消するプログラムは、どのような時間で行われるのですか。</p>
校長	<p>現在考えているのは、総合的な学習の時間、保健体育の授業の一貫として行いたいと考えています。</p>
質問	<p>特別支援教室の指導で、「先生が行く」というのはどういうことですか？</p>
校長	<p>支援教室は通常級に在籍しつつ、週に2時間指導を受けられるということ。これまでのように4時間指導を受けるとすると、通常級での授業が受けられなくなります。特別支援教育では、支援教室で指導を受けたことを、通常級で発揮できるようになること、支援教室の教員と通常級の担任とが連携して児童の指導にあたることを、大事にしていきたい。今年度は、住吉、碧山、東、栄、保一の5校135名の児童の指導に当たります。</p>
<p>協議会の議事は西東京市学校運営協議会規則第11条第3項により出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによることとされている。 全員賛成で可決。学校運営方針は承認された。</p>	
次第4	<p>報告事項</p>
(1)	<p>年間行事予定について、別紙参照</p>
質問	<p>一小まつりについては、以前は保護者参観ありましたがないのですか。</p>

校長	保護者参観をしていた時代を知らないのですが、恐らくコロナ禍の三密回避がきっかけだと思います。以前、本校は特別活動の研究をしていた流れでそういったことを大事にしてきた経緯はある。集会などを見ても、子どもたちの発言は特活の研究の賜物だと思う。
質問	着衣泳については3年、6年が毎年恒例ですか？
校長	水難事故に遭わないように指導している。着衣泳は行うと一気にプールの水が汚れるので、全学年の指導は難しい。
意見	ルネサンスから希望児童を募って、着衣水泳どうですか、と打診がきた。市に確認中ですが、遊び場開放で取り組む可能性もあります。
(2) 総合的な学習の時間（ふるさと探究学習）について実践報告	
低学年	低学年は、地域との出会いを大切にしたいという共通認識をもって指導してきました。 1年生 3回、屋敷林で学習しました。 ビンゴゲームを通して生き物探しや植物の変化を見つけたり、屋敷林保存会の方々の紙芝居を聞いたり興味関心を高めながら学習を進めることができました。 2年生 ・農のアカデミーで枝豆の栽培体験に取り組みました。枝豆の成長を実感するだけでなく、ボランティアの方々が育ててくださっていることのありがたみも実感することができました。 ・生活科「えがおのひみつたんけんたい」の学習を通して、地域の施設やお店に探検に行きました。働いている方、そこに来るお客さん、みんなが笑顔になる秘密を見つけ、1年生に発表しました。紙芝居、クイズ、写真などで発表しました。自分たちの住む地域を知り、親しみを抱くことができました。
中学年	3年生 社会科、総合的な学習の時間が始まります。 低学年で出会った地域をさらに詳しく調べるのが3年生。町探検のときよりも視野を広げ、行動範囲を広げ、見る視点を与えて地域めぐりをし、低学年ではなかった気づきを持つことができました。地域めぐりの発表会では、タブレットも活用しながら意欲的に発表していた。自分たちの地域を知り、愛着をもつような発言も見られました。 昔の道具体験では、社会科の学習とも関連付けながら洗濯板を使ったり、七輪体験をしたりもした。 4年生 SDGsを中心に学習を進めてきました。自分たちで育てた藍を使って保谷で行われていた伝統的な方法で藍染めをしたり、聴導犬や車椅子バスケットと触れ合ったり、体験を通して学習を進めてきました。3学期は保谷のために自分たちでできることを考えました。いじめを無くす、ゴミをなくす、食品ロスゼロ、街の安全、緑地化などについて考えました。なかでも、バリアフリーについては古賀さんに声をかけていただいた高齢者の方々の話を聞くなど、どのチームも市役所や地域の皆様方に助けをいただきました。知る、興味関心について探究する、それを発信する、という学習を地域の方々のかみりて進めることができました。
高学年	5年生 「お米の学校」で実際にお米を育てたり、お米の販売をしている平松さんの話を聞いたり、お店を見せていただいたりしながら学習を進めてきました。主体的かつ双方向で子どもたちと地域の方のコミュニケーションを図りながら取り組むことができました。お店の中に、子どもたちが作成したPOPを飾ったり、CMソングや動画を流していただいたり、成果物を置かせていただいた。3学期には、地域の農家加藤さん都筑さんにもご協力いただき、2学期に培った力を活かしながら食の良さに気づいて発信する学習をしてきました。 6年生 キャリア教育に取り組んできました。人に喜んでもらうことが働くことの喜びだと知ってもらうために、「会社活動」に取り組み、喜びが仕事につながることを体感しました。2学期には、いろいろな仕事を調べました。体操選手宮川さん、消防士、社会保険労務士、飲食店店主3人の方のお話を聞きました。特に、飲食店店主3名の方のお話では、イタリアン、ラーメン、焼き鳥、そこまでする道のりは三者三様で、比べて聞きながら興味を広げて深めることができました。 3学期は学んだことをキャリアツリー（ロードマップのようなもの）、道しるべを作る学習をしてまとめました。
意見	各学年で継続性のある取り組みがあっという間と思った。
次第5	意見交換
質問	タブレットの学習について 一人一台が始まって、一周してきたと思うのだが、タブレットの状況はどのような感じでしょうか。
副校長	きれいに使っていて次の学年に回せるものもあればそうでないものもあるが、市で修理したり交換したりしながらやっている。本校に関してはどうにか使えています。

意見	運動会、作品展、学習発表会、学年末保護者会もよかった。
意見	コロナ前は大々的に卒業を祝う会をやっていた。
質問	コロナのガイドラインはもうない？
校長	ないです。
意見	年間行事や、昨年度の実践報告等を聞いていて、内容は素晴らしいし、不可欠なものだとは思いますが、費用対効果というか、先生方の労力が大きく負担がかかるのは大変だと思う。何事もバランスが大切だと思う。
意見	働き方改革だと思うが、中学校の試験も一日で行うこともあるようです。先生方の負担も大きいなか、学校ではいろいろなことをやっていただいてありがたい。
意見	2年生の町探検は、子どもにすごい影響が大きかった。行ってきたお店の前を通ると、今でもその時の話をよくする。 保護者が思っている以上に、子どもたちへの影響は大きい。学習発表会でも、学んだことを吸収して発表している姿に感動した。先生方や地域の方々に教えていただいてありがたい。自分の学年のことだけしか知らなかったが、今回いろいろな学年のことを知ることができ、これからの学校生活が楽しみになった。
意見	7月下保谷こどもまつり、森林公園で行います。
次第6	事務連絡
	・次回以降の日程確認
以上で第1回保谷第一小学校学校運営協議会を終了する。	